



緑の風



令和6年11月15日
No. 30

旧池田氏庭園ボランティアガイドへ参加

11月7日（木）、3年生と6年生が、仙北中が行っているボランティアガイドへ参加してきました。

あいにくの天気でしたが、到着後すぐに仙北中のお兄さん、お姉さん方が子ども達を案内し、庭園の見所について説明してくれました。小学生でも理解できるやさしい言葉でお話したり、優しく接してくれたり、仙北中生のコミュニケーションの力や思いやりの心が育っていることを感じました。お陰で、子ども達は中学生ボランティアガイドの説明に熱心に聞き入り、楽しく、池田氏庭園について学ぶことができました。

案内してくれた中学生の姿を目標に、小学校でも「表現する力」や「関わる力」などのみどりっ子パワーを身に付けられるよう、指導・支援していきたいと思います。



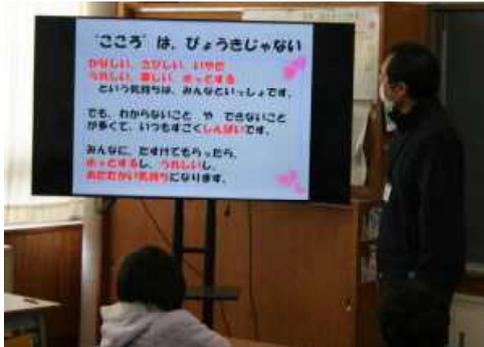
認知症サポーター養成講座 11/7(木)

4年生が総合的な学習の時間に、大仙市高齢者包括支援センターの職員の方々3名をお招きし、「認知症サポーター養成講座」を行いました。

認知症についてパワーポイントで教えていただいたり、接し方についてグループで考え合ったりしました。

7割以上が祖父母と同居している4年生。子ども達からは、「もし私のおじいさん、おばあさんが認知症にかかって困っていたら、優しく声をかけて、安心させたいです。」というような感想が多くありました。

活動を通して、認知症についての理解を深めたり、認知症の方や介護をする家族に対して、自分たちがどのように関わればよいかを考えたりする貴重な機会となりました。



ちよこっと参観PART I・II

本校では、先生方の授業力アップのため、指導主事訪問のほかに「ちよこっと参観」と称して、各学級の授業を先生方が参観し、互いの指導方法について学び合う研修を行っています。

11日（月）は先生が1年生で、13日（水）には先生が2年生で、それぞれ算数科の授業を提示してくださいました。授業参観後は、良かった点をシートに記入し、研究主任である夏美先生がまとめて先生方へフィードバック。今年度は、先生方の評価を基にした**AIによるまとめ（右図）**も行っていきます。

子ども達にとって分かりやすい、楽しい授業を目指し、これからも授業改善を進めていきたいと思っております。



【1年生の授業の様子】



【2年生の授業の様子】



【AIによるまとめ】

素晴らしい学習環境が整えられている様子がよく伝わってきますね！以下の点が特に印象的でした。

実物を活用した学習：目の前に実物をおきながらの学習は、子ども達の理解を深め、具体的な体験を通じて学ぶことができる良い手段です。

学習環境の配慮：一人一人に箱が準備されていることで、個別の学習が促進され、自分のペースで学ぶことができます。

具体的な操作活動：写真や実物を使いながら言語化することで、子どもたちが自分の意見を明確に表現できるようになっています。

ICTの活用：タブレットや Metamoji の活用により、学びを共有し、比較する手段が提供されている点も素晴らしいです。

視覚的な工夫：缶やボールを使った板書や、掲示物を活用することで、視覚的に理解しやすくなっています。

学習規律の重要性：日常的に繰り返される指導の成果として、学習規律がしっかりと身に付いている点も重要です。

これらの工夫や取組により、子ども達が主体的に学び、楽しみながら成長する環境が整えられていることがわかります。本当に素晴らしいですね！

みどいっ子のがんばり

◆KIDS COMPETITIONS

6年生女子の部 第1位

1年生の部 第1位

◆第10回県南少年柔道大会

団体戦 第3位（本校では4年生の

、6年生の

の3人が所属しています）

◆太田 Jr. B. C招待野球大会

優勝 仙北MⅡBC

最優秀選手賞 5年

◆第45回むらすぎ杯仁賀保大会

優勝 仙北バレーボールスポーツ少年団



◆仙北卓球大会 中学校女子の部 第3位



学校外でも
大活躍！！

10月28日（月）に行われた持久走記録会に向け、「**いっぱい走ろうカード**」で**100周以上走った子どもたち**に特別賞として賞状を渡しました。結果も大切ですが、目標に向けて努力する過程も大切にしたいと考えています。ご家庭でもお子さんのがんばりを褒めていただければ幸いです。

1年

2年

3年

4年



「あったかことばを増やそうWEEK」 11/18(月)～30(金)

たいようくん委員会が中心となって、全校で**あったかい言葉**を使う機会を増やし、互いに**認め合おうとする態度**や**思いやりの心**を育てる取組を行います。ご家庭でも、普段使っている言葉について話し合い、「**あったか言葉**」「**ちくちく言葉**」について考えてみてはいかがでしょうか？親は、子どもが一番身近なお手本です。